

# 6月定例議会

## 東京電力電気料金支払いについて

新聞で見て驚かれた方も多かったと思いますが、高萩市観光協会は、東京電力に対し、原発事故の風評被害損害賠償金として、誘客対策としてのCMの費用を請求していましたが、認められないため、高萩市は電気料金の支払いを保留にしていました。

4月30日 東京電力水戸支社から、賠償金支払い請求の回答と高萩市の電気料金の支払い保留の件について説明にみえました。高萩市観光協会からは、桜まつりの経費や人件費、海水浴場と紅葉まつりの減収額、誘客対策としてのCM費用としての経費を原発事故風評被害損害賠償金として請求していました。(下記参照)しかし、東電の回答では、**お祭り等の減収額は支払うが、CM費用は払えない**ということでした。その請求と同時に高萩市が電気料金の支払いを保留にしていたことに関して、東電の回答書の中で、「**電気料金の支払いと賠償請求は直接関係するものではないので、電気料金はお支**

**払ってください。**」とありました。その時、私から、東電に「今日支払いしたら、延滞金は発生しませんよね?」と確認したところ、「もうすでに延滞金は発生しています。」とのことで、私は市の執行部から「今日を超えれば延滞金が発生する」と説明をされていたので、大変驚きました。本来のルールによると、支払いが30日遅れれば延滞金が発生し、50日遅れれば電気の供給がとめられることになるらしく、その日に、支払わなければ、高萩市役所への電気の供給が止められるところだったのです。市の認識不足であり、誰一人それに気付かなかったことは、非常に遺憾であります。延滞金が発生したことに対して、市は議会に対して説明責任があり、金額が多かれ少なかれ、市民の税金を使って支払うのだから、市民に対し大変迷惑をかけることになってしまいました。

### ○高萩市観光協会における原発事故風評被害損害賠償金の内訳

- 1、請求額 7,723,280円
- 2、請求日 平成25年2月15日 東京電力株式会社
- 3、請求対象期間 平成23年12月～平成24年11月
- 4、内訳

(単位：円)

事業名	減収額	経費	人件費	計
桜まつり		32,000	7,704	39,704
海水浴場	674,830		3,852	678,682
紅葉まつり	1,622,894			1,622,894
誘客対策(テレビCM等)		5,372,370	9,630	5,382,000
計	2,297,724	5,404,370	21,186	7,723,280

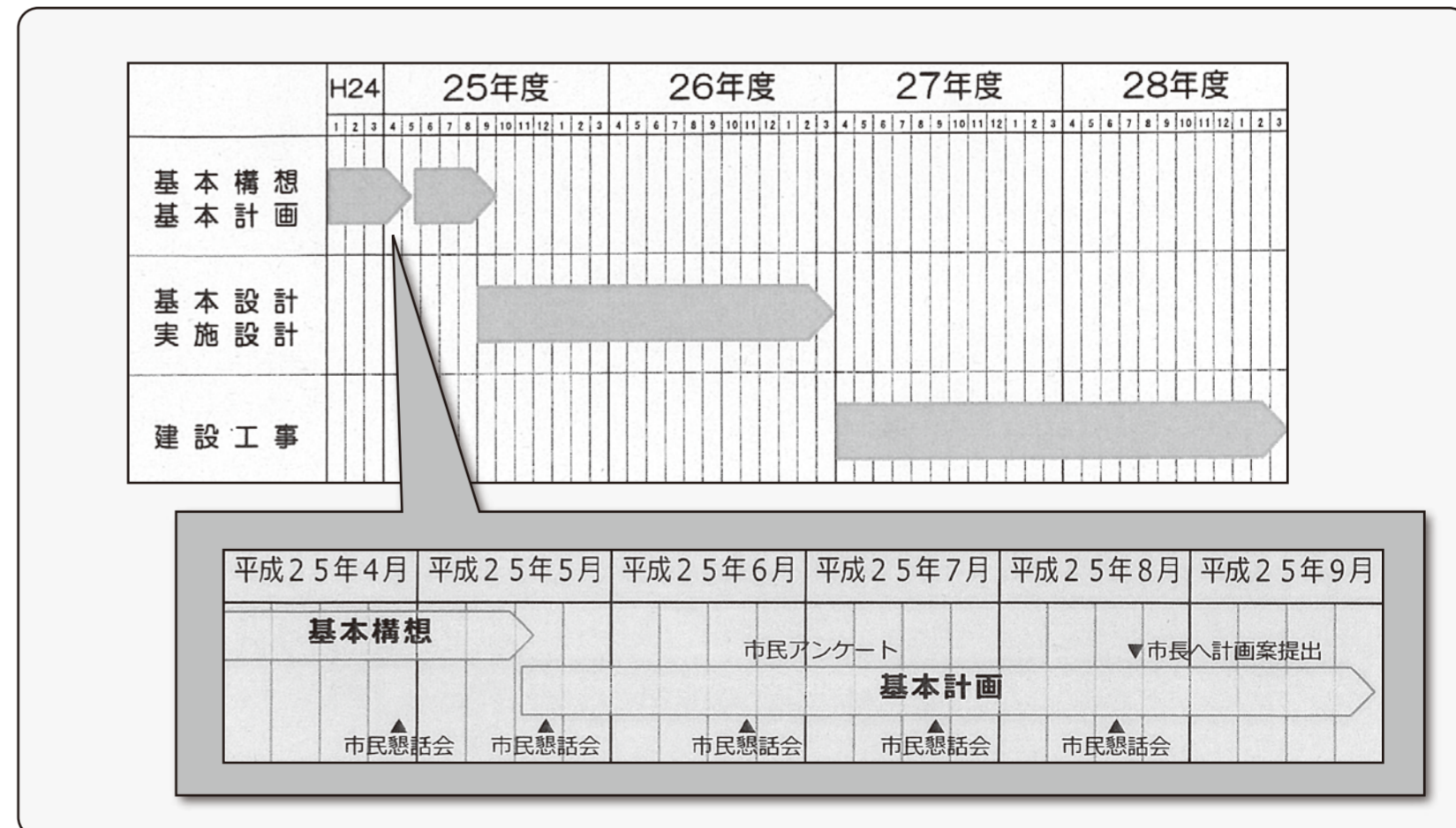
風評被害により、H23年とH24年に高萩市に訪れる観光客は激減し、海水浴、紅葉シーズンの駐車場収入として計算すると、上のような減収となりました。誘客対策でテレビCMを行ったところ、少しずつ回復しております。



平成25年 3月12日	東京電力からの説明	テレビCM費用は賠償の対象としない。
3月25日	高萩市長から通知	説明の内容は納得できないから、再検討をお願いしている。最終結論が出されるまで公共施設電気使用量の支払いを保留する。
4月19日	高萩市長から回答の依頼	最終結論が出るまで電気量の支払いを保留しているが、まだ回答がない。賠償請求についての回答をお願いしたい。
4月23日	議長・副議長 東京電力へ	抗議の意見書を出し、話し合いを行った。
4月30日	東京電力から回答と電気料支払いのお願い	支払い金額 1、逸失利益 2,227,200円 2、追加的費用 32,000円 請求した放射線量測定経費(上記請求金額の中の「人件費」)および放射線風評被害対策事業に関わる経費は、賠償の対象としない。
4月30日	東京電力から説明  高萩市から電気料の支払い	これ以上、支払いを保留にすると公共施設への電気の供給がストップすること、すでに延滞料金(50,793円)が発生していることが説明される。 電気の供給をストップされないよう、急ぎよ支払いへ。
6月7日	草間市長が責任をとって延滞金を給与より支払い	7月の給料月額から減額することが提案された。→ 決定

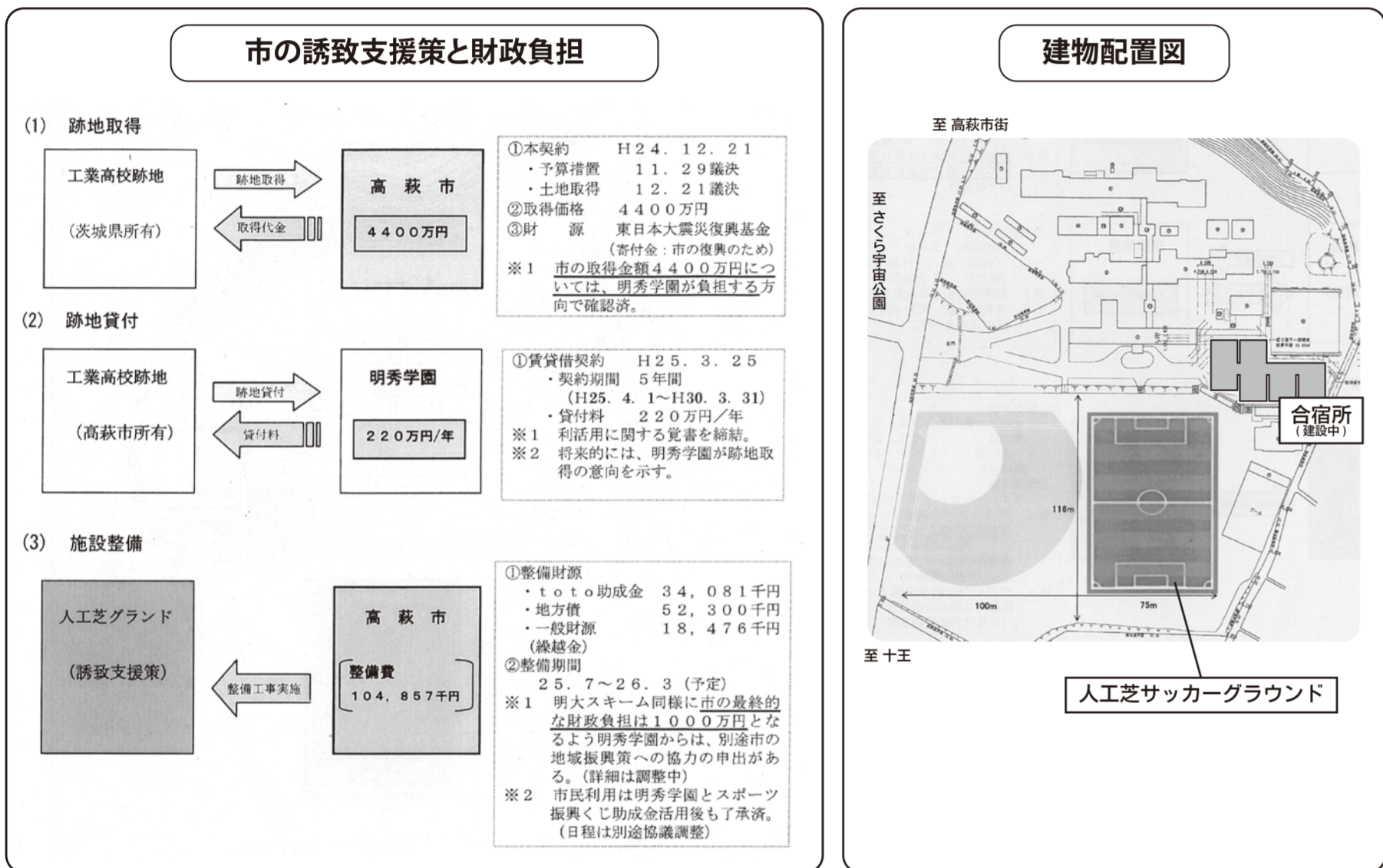
## 高萩市本庁舎再建計画について

下記のスケジュールで建設を計画しております。平成29年度からの使用開始を目指します。再建するにあたり、必要となる費用は、他市の本庁舎建設費事例及び本市の状況を考慮した建設単価を基準とし、想定面積に基づいて設定しますが、本市の財政状況を考慮し、可能な限り節約に努めます。財源については、震災復興特別交付税および地方債を充てることを想定しています。



# 高萩工業高校跡地整備について

高萩工業高校跡地を日立明秀学園の部活動に利用していただくことになりました。跡地は、茨城県所有のため、高萩市がこれを取得し、明秀学園に貸し付けをするという形になります。(下図参照) 土地取得に必要な4,400万円は、最終的には明秀学園が負担することになります。貸し付けは、年間220万円で5年間、利活用に関する覚書を締結することで、高萩市民も整備されたグラウンド等を利用できるようにしていきます。高萩市の誘致支援策としての施設整備は、人工芝のサッカーグラウンドをtoto助成金、地方債などを利用し、一般財源から約1,850万円繰り入れることになり、合計、整備費として104,857,000円かかります。資金もかかりますが、**市の活性化、土地の有効活用、市民のスポーツ振興に貢献されることを考慮すれば、期待のもてる投資となるでしょう。**



**吉川の考察** 庁舎建設にあたり、新庁舎を建設した5市を視察し、それぞれのいいところを目で実際に見て参考にさせていただいております。最近の建築物は、耐震力(地震の揺れに耐える力)よりもむしろ、免震力(地震エネルギーを吸収して地震の揺れを免れる力)に重点を置いて建設されています。免震性能を高めて災害に強い庁舎とし、また、市民に親しまれる庁舎となっているかどうか、環境に配慮した設計になっているか、などいろいろな点から、検討していきたいと思っております。

指定廃棄物の最終処分に関しては、暗礁に乗り上げている感じがします。各県との話し合いの中で出された、「福島へ集約」の案を環境省が福島県に確認し、「各県での処理を」と受け入れを拒否しています。その後の茨城県での首長会議において、「県内処理」はやむをえない状況で認識されたそうですが、具体的にどこ?という受け入れられる市町村は出てこないのが現実です。結論が出るのはまだ先のようにです。

高萩工業高校跡地を明秀学園が利用していただくことになり、とてもよかったと思っております。若い人たちが出入りすることで、少しでも高萩市が活性化することを期待すると、その設備を高萩市の市民が共有して使わせていただくことにより、市民の体力アップとスポーツ少年団等の子どもたちのレベルアップが図れるのではないのでしょうか!

地震での被害に負けず、市民の皆様と共に、少しずつでも高萩市を盛り上げていきたいと思っております。

# よしかわ通信



発行

高萩市議会議員

よしかわ どう りゅう  
**吉川道隆**

高萩市安良川686  
TEL 0293-24-0833  
FAX 0293-22-3340  
ホームページ <http://www.douryu.net>  
E-mail [info@douryu.net](mailto:info@douryu.net)

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

情報化社会といわれるようになって、しばらく経ちましたが、本当に最近のIT技術の進歩には驚くばかりです。欲しいと思う情報を得るには、以前は、図書館へ行ったり本屋へ行ったり、あちこちに電話をしたりしなければなりません。パソコンが普及し、インターネットが身近になり、便利になったと思っていれば、今度は持っている携帯電話でどこにいても調べられるようになりました。その反面、自分のことも人に知られる(調べられてしまう)という危険性もあります。ひとり言のように書き込んだこと、実際には知らないのに知ってる人のような気になって書いたことがネット上で世界中で独り歩きしてしまいます。

先日、ネット上の一言が原因で全国から批判された県議がいました。ネット上でなく、町の人と話しているだけなら、そこまで大きな問題には発展しなかったでしょう。

今、一日中スマートフォンと向き合っているような中学高校生が、今の振り込め詐欺にあってしまうような年齢になったら・・・もっと問題が大きくなるような気がします。技術の発展は時には犯罪の助長となります。現実世界をしっかりと見つめ、本当の人と人のつながりを大切にできるよう、一人ひとりが心がけていくべきではないでしょうか。今後ともご指導、ご意見よろしくお願ひ申し上げます。

## 高萩市議会における災害発生時の対応要領について

### 高萩市議会災害対策支援本部の設置

これまで、それぞれの市町村において、災害により「市の災害対策本部」を設置するという流れは出来ていました。しかし、市議会がその対策本部に協力するというようなシステムは出来ておらず、東日本大震災の際に、高萩市だけに限らず、他の市町村においても、各議員に情報が伝わらず、それぞれがバラバラに動き、かえって市職員の動きの妨げになったり、「議員は何をしていたのか」と批判されたところが多かったそうです。そこで、震災後、全国で市町村の対策本部が設置された場合、これに協力するため、「議会災害対策支援本部」を設置し、市の災害対策活動を支援していくとともに、議員自らが迅速で適切な災害対応に取り組んでいけるようなシステムを検討されるところが出てきました。高萩市議会としても、やはり災害の際に備え、協力する体制を整えておくべきだと考え、確立することとなりました。

### ●高萩市の総合防災体制とは…

